

日本海沿岸東北自動車道
ふ た つ い し ら か み
二ツ井白神IC接続部の改良が令和6年度に完成！

- 日本海沿岸東北自動車道 ふ た つ い し ら か み 二ツ井白神IC～お お だ て の し ろ く う こ う 大館能代空港IC間約20kmは、平成23年度に現道活用案に決定しています。(※1)
- この区間においては、か に さ わ 蟹沢IC～お お だ て の し ろ 大館能代空港IC間の5.3kmが令和2年12月に開通し、ふ た つ い い ま い ず み 二ツ井今泉道路4.5kmが令和5年度に開通予定であるなど、順次、整備を進めているところです。
- これ以外の区間については、現道の平面交差点解消等の改良を3箇所を実施しており、このうち、二ツ井白神IC接続部の改良が、令和4年度の予算と、工事進捗状況を踏まえた工程精査の結果、令和6年度に完成する見通しとなりましたので、お知らせいたします。(※2)

- ※1. 現道を改良し、周辺的高速道路と一体的に利用するための整備を行うものです。
(ただし、こ つ な ぎ 小繋IC(仮称)～い ま い ず み 今泉IC(仮称)間の二ツ井今泉道路4.5kmはバイパス整備)
- ※2. 工事の完成時期は、現地の状況により変更となる場合があります。

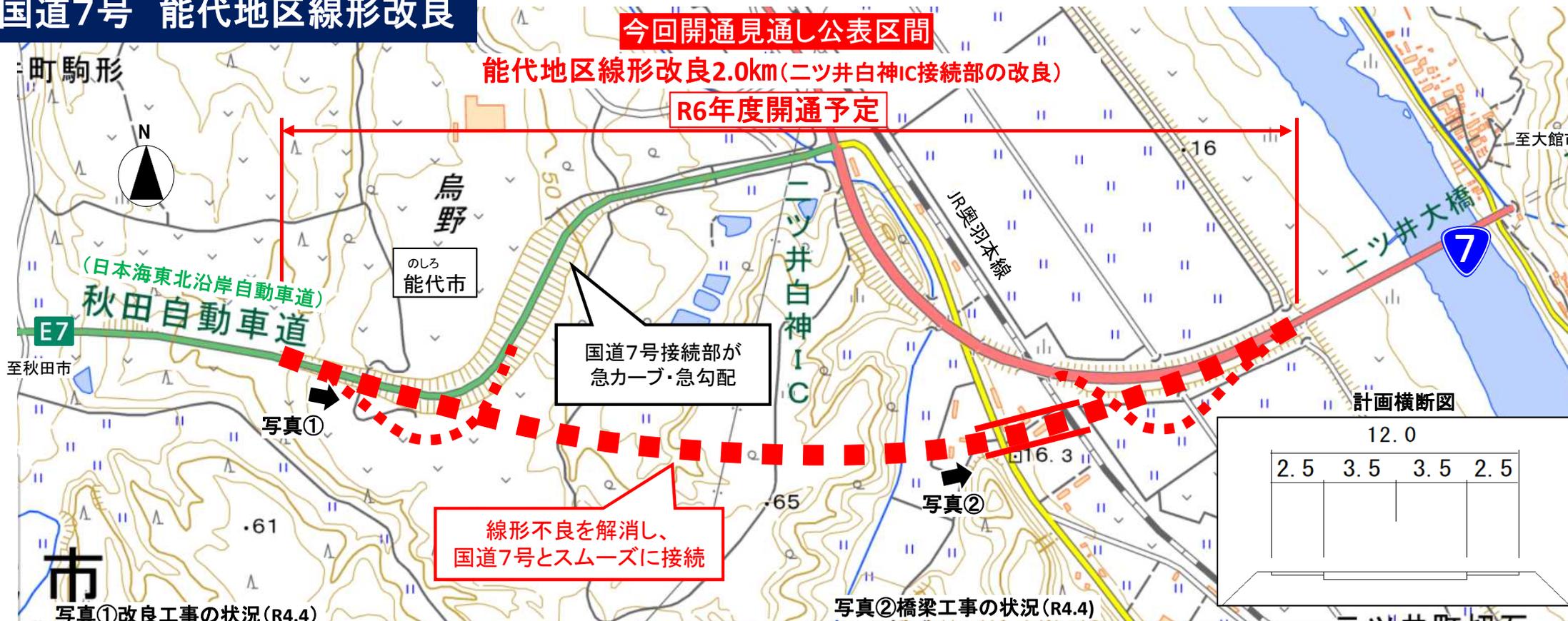
<記者発表先: 秋田県政記者会、能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ>

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所
TEL 0185-70-1001(代)

副所長(道路担当) 佐々木 みのる 稔 (内線205)

国道7号 能代地区線形改良



写真①改良工事の状況(R4.4)



写真②橋梁工事の状況(R4.4)



二ツ井白神 I C 接続部の安全性の確保 (能代地区線形改良の整備効果)

○日本海沿岸東北自動車道(E7)の二ツ井白神IC接続部は**急カーブ・急勾配**となっており、**正面衝突等の重大事故が発生**しているほか、**急ハンドル等の危険挙動は日常的に発生**。

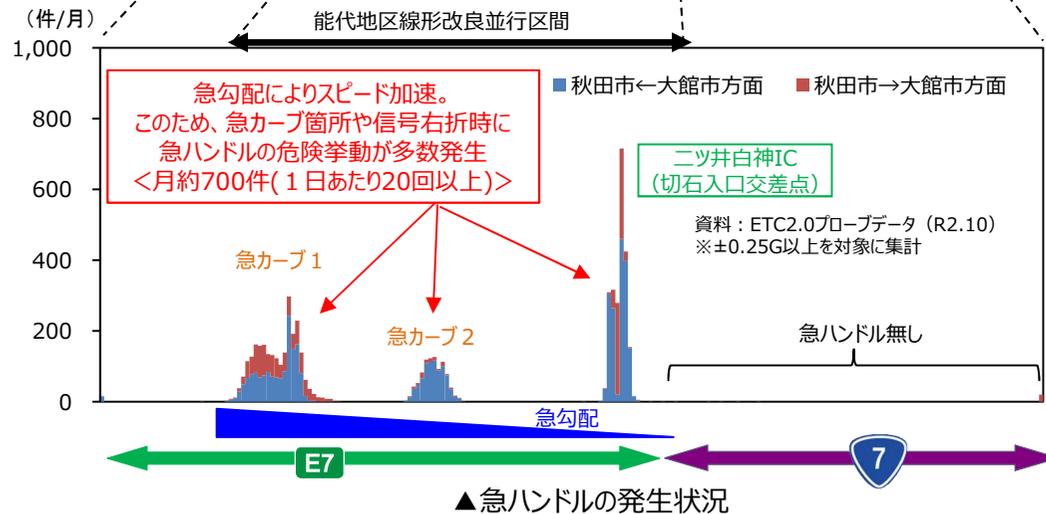
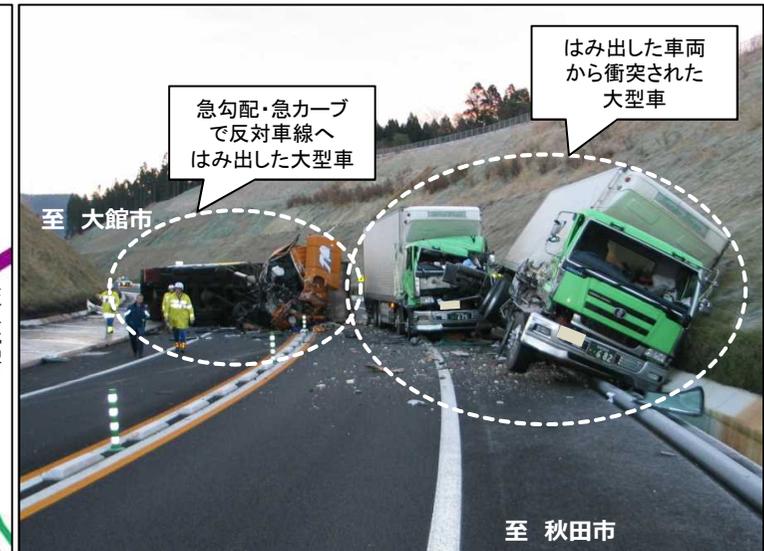
(死傷事故率385.9件/億台kmで県北地域ワースト2位。H19開通後、15件の交通事故が発生。急ハンドルは1日あたり20回以上発生。)

○能代地区線形改良の整備により、**急カーブや急勾配区間を回避した安全な走行が可能**。

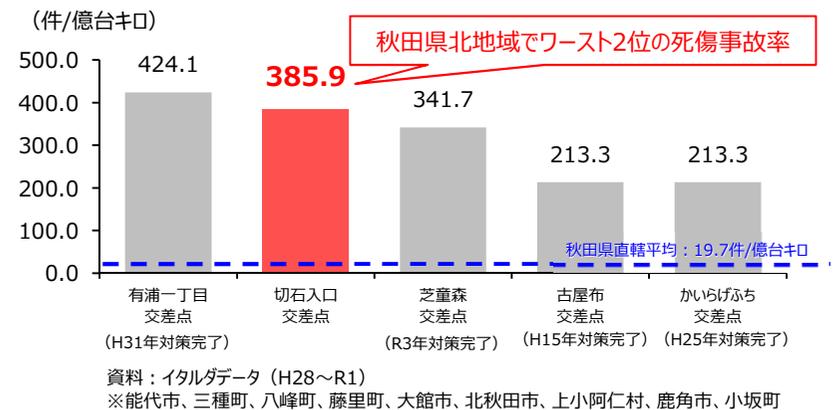
▼事故発生状況



▼重大事故発生状況 (H19.11)



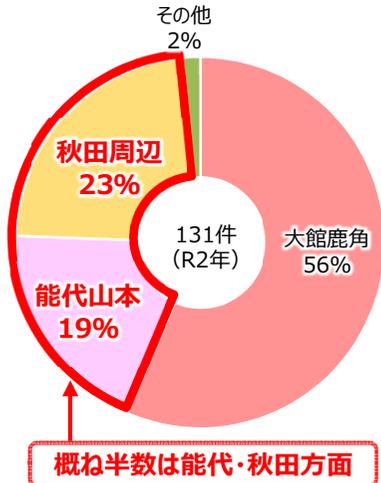
▼秋田県北地域*の国道7号における死傷事故率の比較 (死傷事故率の高い単路・交差点ワースト5位)



円滑な救急搬送を支援（県北地域の日沿道の整備効果）

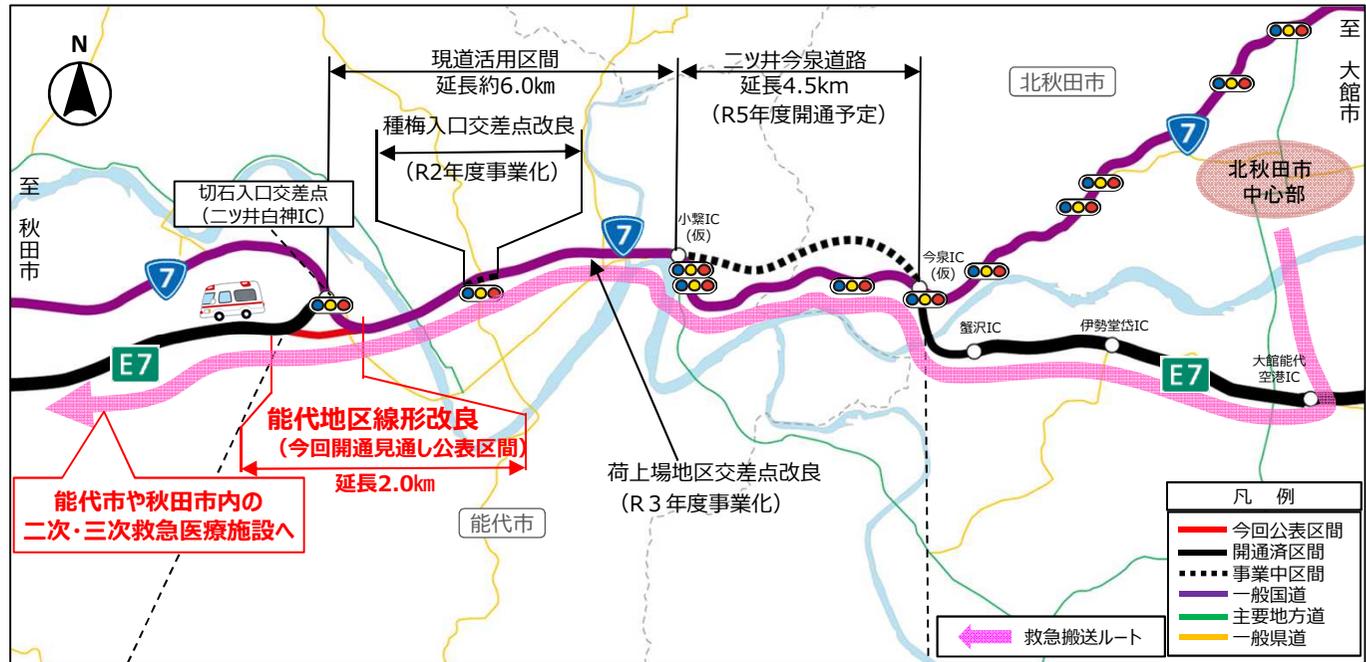
- 北秋田市消防本部の管外搬送件数のうち、約4割が能代市・秋田市方面の二次・三次医療施設等へ救急搬送。
- 日沿道沿線地域では脳血管疾患による死亡率が高く、信号交差点付近での減速等の発生により傷病者への負担に。
- 能代地区線形改良を含む日沿道の延伸により、連続した安定走行が可能となり、円滑な救急搬送を支援。

▼北秋田消防本部の管外搬送件数割合

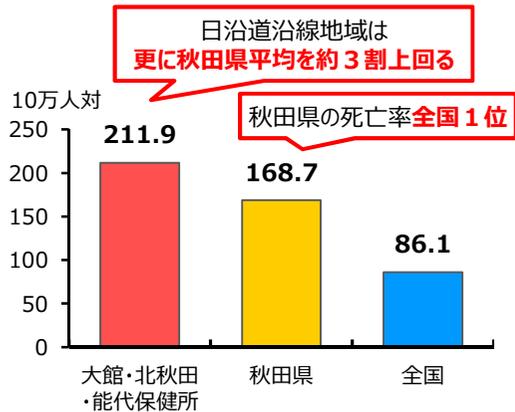


資料：北秋田市消防本部資料

▼北秋田市から能代市・秋田市内の二次・三次医療施設への搬送ルート

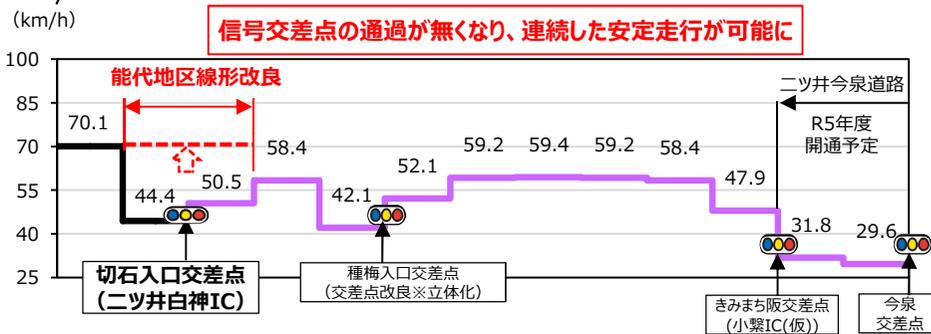


▼脳血管疾患による死亡率(地域別)



資料：R1秋田県衛生統計年鑑

▼冬期の旅行速度について（二ツ井白神IC～今泉交差点）



資料：ETC2.0プローブデータ (R2.12-R3.2) ※朝ピーク(7時台)の上下平均速度

《救急隊員の声》

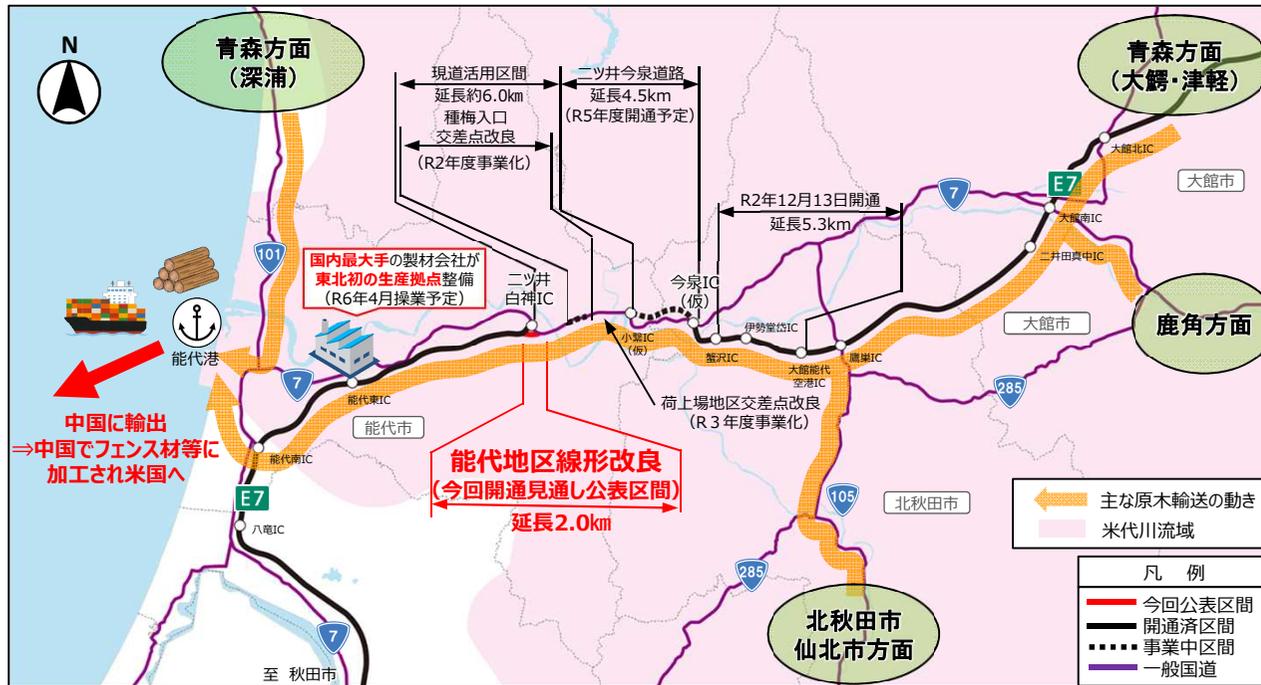
- ・信号交差点通過時の減速で揺れ等が発生し、傷病者への負担に繋がるので注意を払って搬送している。
- ・救急搬送時間の短縮や急カーブ等の回避により、傷病者の安定輸送及び一刻も早い処置が可能となり、救命率の向上に繋がる。

(R3.8、R4.1ヒアリング結果)

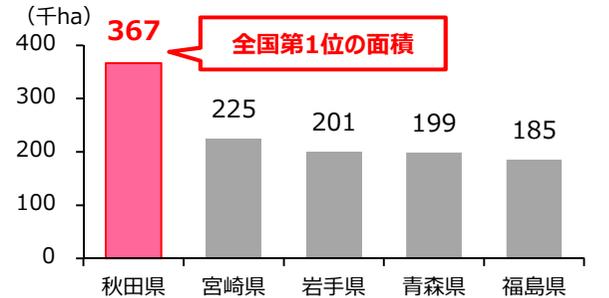
円滑かつ安定した物流を支援（県北地域の日沿道の整備効果）

- 秋田県は人工林スギ面積が全国1位。能代港の輸出量は年々増加、R6年に国内最大手製材会社の工場が稼働予定。
- これまでの日沿道の延伸で連続した高速走行が可能となり、青森方面や秋田県北地域から能代港までの輸送回数が増加。
- 能代地区線形改良を含む日沿道の延伸で、さらに連続した安定走行が可能となり、円滑かつ安定した原木輸送を支援。

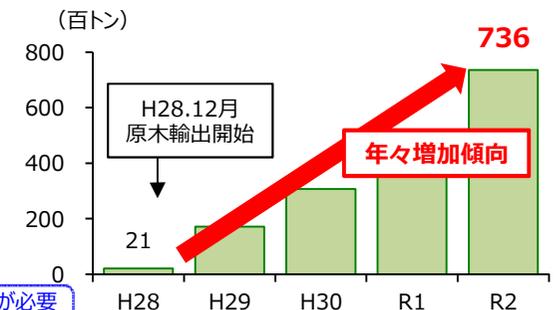
▼日沿道を利用する主な原木輸送の動き



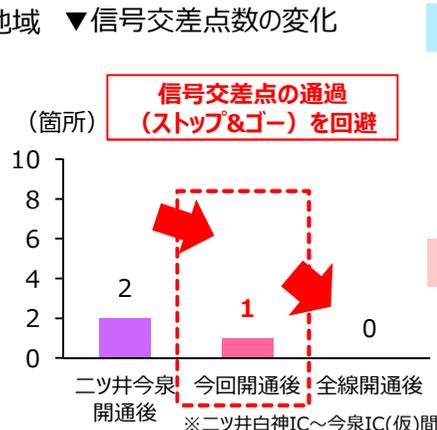
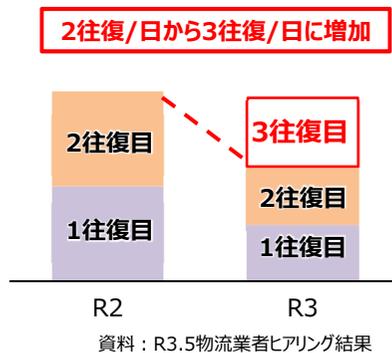
▼都道府県別の人工林スギ面積



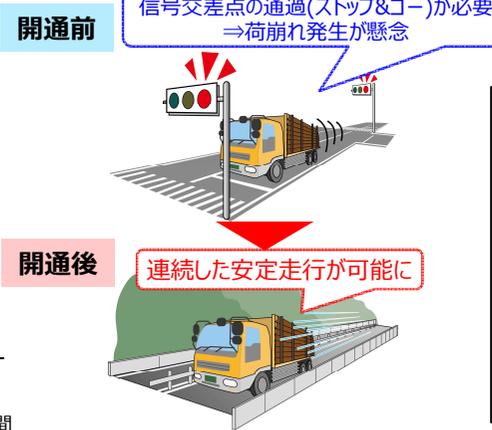
▼能代港の原木輸出量の推移



▼青森方面(大鰐・津軽)・秋田県北地域から能代港までの輸送回数の変化



▼信号交差点数の変化



《原木輸送業者の声》

- ・これまでの開通した日沿道の区間では連続した安定走行が可能（ストップ&ゴーの解消）となり、走行性の向上も実感している。
- ・線形改良事業等の整備により今後原木需要のさらなる増加に期待。

(R3.5ヒアリング結果)